

4-Stage Balance Test 記録シート

標準条件・終了理由・安全上の中止・判定を1枚で記録

rehabilikunblog 独自資料（CDC公式様式そのものではありません）

患者名		日付	
ID		時刻	

1. 標準条件（開始前）

☐ 開眼 ☐ 歩行補助具なし ☐ 4つの足位を説明・実演 ☐ 評価者は対象者の横で安全確保 ☐ 姿勢が安定した後に支持を離して計時

2. 4段階の記録

段階	足位	保持時間（秒）	10秒保持	終了理由	メモ
1	両足をそろえた立位		☐ 可 ☐ 未達		
2	セミタンデム		☐ 可 ☐ 未達		
3	タンデム		☐ 可 ☐ 未達		
4	片脚立位		☐ 可 ☐ 未達		

公式の終了条件：10秒保持できれば次へ進む。足を動かす、または支持が必要となり10秒保持できなければ、その段階で終了。

許容されるバランス戦略：腕を広げる・体幹を動かしてバランスを取ることは可。足部は動かさない。

3. 終了理由と安全上の中止

公式の終了理由	☐ 足部移動 ☐ 支持が必要 ☐ その他
安全上の中止	☐ 転倒兆候 ☐ 疼痛増悪 ☐ 強い恐怖・不安 ☐ 体調不良 ☐ その他
詳細・経過	

4. 判定と次に確認すること

高齢者でタンデム立位を10秒保持できない場合は、CDC STEADI上の転倒リスク上昇のサイン。

4-Stage単独で歩行可否を決めず、他の転倒リスク因子と合わせて判断する。

次に確認	転倒歴 / 歩行能力 / 下肢筋力 / 感覚 / 視覚 / 疼痛 / 薬剤 / 起立性低血圧
------	--

5. カルテ記録用まとめ

例：開眼・補助具なし。両足10秒、セミタンデム10秒、タンデム6秒で左足部移動あり終了。片脚立位は未実施。

6. 比較条件・再評価

再評価日		比較条件	
前回からの変化			